			②固定資産の取得額：建物　39,838,338、建物附属設備　28,598,450、構築物　13,361,416　機械及び装置　3,725,400、車両運搬具　2,282,219、工具器具備品　191,896,862　ソフトウェア　17,813,649 ③運営費交付金の振替額の積算根拠 取引の発生の都度、運営費交付金を財源とする経費及び固定資産等の取得額を把握し、運営費交付金収益又は資産見返運営費交付金に計上しております。
会計基準第80第３項による振替額		―	
合　　計		8,811,675,881	

⑶　運営費交付金債務残高の明細

①　平成18年度交付分

（単位：円）

交付年度	運営費交付金債務残高		残高の発生理由及び収益化等の計画
平成18年度	費用進行基準を採用した業務に係る分	35,268,031	○費用進行基準を採用した業務は、全ての業務であります。 ○運営費交付金債務残高は、翌事業年度に繰り越した業務等であります。 ○翌事業年度に繰り越した運営費交付金債務残高については、翌事業年度において収益化する予定であります。

②　平成19年度交付分

（単位：円）

交付年度	運営費交付金債務残高		残高の発生理由及び収益化等の計画
平成19年度	費用進行基準を採用した業務に係る分	161,195,951	○費用進行基準を採用した業務は、全ての業務であります。 ○運営費交付金債務残高は、翌事業年度に繰り越した業務等であります。 ○翌事業年度に繰り越した運営費交付金債務残高については、翌事業年度において収益化する予定であります。

③　平成20年度交付分

（単位：円）

交付年度	運営費交付金債務残高		残高の発生理由及び収益化等の計画
平成20年度	費用進行基準を採用した業務に係る分	305,985,908	○費用進行基準を採用した業務は、全ての業務であります。 ○運営費交付金債務残高は、翌事業年度に繰り越した業務等であります。 ○翌事業年度に繰り越した運営費交付金債務残高については、翌事業年度において収益化する予定であります。

④　平成21年度交付分

（単位：円）

交付年度	運営費交付金債務残高		残高の発生理由及び収益化等の計画
平成21年度	費用進行基準を採用した業務に係る分	518,160,119	○費用進行基準を採用した業務は、全ての業務であります。 ○運営費交付金債務残高は、翌事業年度に繰り越した業務等であります。 ○翌事業年度に繰り越した運営費交付金債務残高については、翌事業年度において収益化する予定であります。

13.　運営費交付金以外の国等からの財源措置の明細

⑴　施設費の明細

（単位：円）

区　　分	当期交付額	左の会計処理内訳			摘　　要
		建設仮勘定見返施設費	資本剰余金	その他	
平成20年度独立行政法人土木研究所施設整備費補助金（一般勘定）	28,129,500	―	28,129,500	―	
平成21年度独立行政法人土木研究所施設整備費補助金（一般勘定）	515,349,045	―	488,003,492	27,345,553	
計	543,478,545	―	516,132,992	27,345,553	

⑵　補助金等の明細

（単位：円）

区　　分	当期交付額	左の会計処理内訳				摘　　要
		建設仮勘定見返補助金等	資産見返補助金等	資本剰余金	収益計上	
平成21年度科学技術総合推進費補助金コンクリート構造物のＬＣＭ国際標準の確立	5,200,000	―	―	―	5,200,000	
平成21年度科学技術総合推進費補助金統合化地下構造データベースの構築	25,365,436	―	―	―	25,365,436	